

長野地区社会保障推進協議会ニュース

長野地区社保協は、社会保障についての相談窓口です。

社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関連の諸団体、

市民団体、女性団体などが共同して運動をすすめる組織です。(活動地域：長野市、上水内郡)



長野地区社保協・活動報告

長野市に要望書提出

長野地区社保協は10月1日、長野市に対し要望書を提出しました。内容は国保や後期高齢者医療等です。14日には長野市から文書回答を得ました。

来年の国保料引上げ「確実に実行」

「来年度に計画されている、保険料の引き上げを中止してください。」という当会の要望にたいし、「長野市の国保行政を将来に向けて安定的に運営し続けるためには、国保財政の健全化を図る必要があります、料率の改定を含めて**第一期財政健全化計画**を確実に実行することが重要であると考えています。」…と、保険料の引き上げを確実にを行うと回答しました。

長野市は2018年に定めた「第一期財政健全化計画」で、「医療分保険料率改定」について表①のように計画しました。2019年度、長野市の国保料はこの計画に則して引き上げられています。

表① 年度	料率 (%)	長野市国保・保険料	
		1人当たり	1世帯当たり
2018年	7.90	11万1000円	16万5200円
2019年	8.20	11万3900円	16万9500円
2020年	8.20	11万3900円	16万9500円
2021年	8.50	11万6700円	17万3800円
2022年	8.50	11万6700円	17万3800円

そして、来年2021年度にも国保料の引き上げが計画されています。提出したの要望書で、当会は引き上げ中止を求めましたが、長野市は「確実に実行する」と回答しているのです。

計画通りに 法定外繰入金減少

長野市国保基金残高は12億円

国保料の引き上げと同時にすすめられているのが、法定外繰入金の計画的な減少です。「第一期財政健全化計画」は、一般会計から繰入れるお金のうち法定外分、約10億円を2022年度までに半減・5億円にすることを盛り込みました。表②の通り、2016年度は11億円あった繰入金は、2020年度予算で6億円にまで減少しています。

一般会計繰入金のうち法定外分 表②

2016年度決算	11億5663万4千円
2017年度決算	10億275万9千円
2018年度決算	8億1659万4千円
2019年度決算見込	8億円
2020年度予算	6億円

なお長野市国保の基金残高は約12億円です。これは「不測の事態に対応する」(長野市回答文書)ためのものとのことです。

消費税、台風災害、コロナ…市民生活

を考慮し 国保料引き上げ中止を

2019年から2020年にかけて、消費税増税、台風災害、コロナ禍と長野市民の生活はまさに「不測の事態」です。また前号ニュースでも紹介した通り、協会けんぽと比べても国保料は負担が重いのは明らかです。長野地区社保協は、来年度の国保料引き上げ中止を求めます。基金を活用する、法定外繰入金の減少をいったん見直すなどの方法を検討するよう求めます。